

登録コード	E2131900	開講年度	2026			
授業科目	地誌学概論				担当教員	内山 琴絵
英文授業名	Regional Geography				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生
講義室	教育N101講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				地誌学に関する専門的知識・能力を習得して授業実践に活用できるようになる（達成目標）	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				地図を活用した地域分析を行い、調査内容を発表することができる能力を習得して授業実践に活用できるようになる（達成目標）	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本講義では、各種地図・データの利用・作成を通して、さまざまな地域の特徴について背景事象から理解することを目指す。それによって日本および世界の地理的多様性に関する知見を深める。					
(5)授業計画	第1回：イントロダクション 授業概要、到達目標の説明 第2回：地図の見方・使い方（地図の種類、スケール、作図方法） 第3回：現代世界の地域構造 第4回：グローバル化と日本 第5回：地域研究の方法 第6回：受講生によるプレゼンテーション 第7回：受講生によるプレゼンテーション 第8回：受講生によるプレゼンテーション 第9回：受講生によるプレゼンテーション 第10回：受講生によるプレゼンテーション 第11回：受講生によるプレゼンテーション 第12回：受講生によるプレゼンテーション 第13回：受講生によるプレゼンテーション 第14回：総括 これまでの講義のまとめ、授業アンケート 受講者数によってプレゼンテーションの時間数は変動する					
(6)成績評価の方法	・ 授業の達成目標の到達度 を測る期末試験 50点 ・ 授業の達成目標の到達度 を測るプレゼンテーション（発言・発表） 30点 ・ 授業の達成目標の到達度 を測る毎回の講義中レポート 20点					
(7)成績評価の基準	期末試験、プレゼンテーション、講義中レポートにより評価。 90%以上 秀,89-80% 優,79-70% 良,69-60% 可,59%以下 不可。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 秀:授業内容をきわめて高度に理解するとともに、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、高度な成果を示している。 優:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、良好な活動成果を示している。 良:授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可:授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可:授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。					
(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って60時間以上の時間外学習が必要となる。 毎回の講義開始時に、前回の講義に寄せられた意見・質問への回答をおこなう。したがって、講義開始前に前回の内容の復習を各自しておくこと。					
(9)履修上の注意	パワーポイントを用いた講義形式で授業を進める。補助的に、メディア、映像資料を使用する。また、後半には受講生によるプレゼンテーションを行う。受講者数によってプレゼンテーションの時間数は変動予定。					
(10)質問，相談への対応及び連絡先	相談は随時受け付ける（講義終了後またはM317）。授業時間以外であれば事前にメールでアポイントを取ること（uchiyama_kotoe@shinshu-u.ac.jp）。					
【教科書】	教科書は使用しない。 各回の講義に関連する参考文献・参考資料を掲載したリストを配付する。					
【参考文献】	上杉和央・小野映介編（2023）『みわたす・つなげる地誌学』古今書院 矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・牛垣雄矢（2020）『地誌学概論（第2版）（地理学基礎シリーズ 3）』朝倉書店					